

基本施策 3-5 暮らしを支える地域公共交通

1. 現状と課題

町内を移動する公共交通は路線バスのほか、島民の通勤・通学には定期航路が利用されています。通勤・通学や高齢者の移動手段として不可欠な、バス・航路の維持、利便性の向上が課題となっています。

2. 目指すべき将来像

鉄道、バス及び海上交通等の利便性の向上と利用促進を図り、生活に不可欠な移動手段が十分に確保されることで、町民が住み続けたいと思えるまちづくりを目指します。

3. 将来像の実現に向けて

- ・自動車を運転できない高齢者の増加や、潜在利用者のニーズの変化に合わせ、運行ルートや時間帯、バス停留所等を見直していきます。
- ・駐車場など、利用者の利便性に大きく影響する周辺環境の改善に取り組みます。
- ・自動運転などの先進技術の導入、環境に配慮した車両等の導入、地域による公共交通、路線の再編等について、財政負担を抑えつつ、町民や観光客の需要に応じた移動手段を確保・充実する方法を検討します。

4. 主な予算事業

事業名	部署名	事業概要	R1決算 (千円)	R2予算 (千円)	推進 方針※	実施 計画	事業 評価書
1 交通安全推進費	防災安全課	交通安全意識の高揚を目的に、交通安全の広報、啓発活動及び交通弱者の交通安全教育など、交通安全の推進活動を実施します	1,559	1,620	A		P136
2 離島振興費	地域振興課	国や県と連携し、篠島・日間賀島住民の生活の安定と福祉の向上を目的に離島振興を図ります	18,732	30,939	B	P60	P166
3 公共交通対策事業費	地域振興課	南知多町地域公共交通網形成計画に基づき、町民の通勤・通学・通院などの日常生活を支える公共交通の維持・活性化を図ります	115,304	107,725	B	P63	P169
4 小学校一般管理費	学校教育課	小学校施設の適切な維持管理に努めます	60,598	68,675	B	P33	P284
5							
6							
7							
8							
9							
10							

※事業の推進方針は、前年度の事業評価書に基づいて記載しています。(A…拡充 B…継続 C…縮小 D…廃止)

5. 地域との協働に関する取組み状況

- 公共交通機関を積極的に利用する。(個人)
- 運転手等の担い手がやりがいを持って働けるよう、感謝の気持ちやねぎらいなどを伝える(個人)。
- バス停周辺の除草、清掃を行う。(個人・事業者)。

6. 町民意識調査によるニーズ等

自由記述意見から実現の可能性が高い又は条件によっては実現可能な提案等に関する記述のみを抜粋【関連する主な予算事業の番号】

- ①観光船は島民にとっては必要な移動手段なので、もう少し安く。【2】
- ②定期船の交通費が高すぎるので安くしてほしい(補助)【2】
- ③子育てサポートバス、タクシーがあったら良い。町内も大事だが、外に働きに出やすいように南知多道路(高速道路)を町民が使い放題とか専用通勤定期などがあると、町外へ引越さずここに残ります。
- ④半田の高校へ通うのに、バスの時間がないから朝練・朝学に参加できないと聞いた。ここで子育てするのを不安に思うし、他の人が思わないようなことが少なすぎる。クラス替えが無いなど、人が考えなくても良いものが悩みになっていて悲しい。【3】
- ⑤船の料金が安い。時間に追われて不便。師崎の立体駐車場も観光客も増えれば渋滞にもなり船に乗りたのに乗れない状態。島民にとって船は生活航路ですからとても大事です。島民にあんなに運賃頂いて、陸の方は何か同様なことはありませんか？【2】
- ⑥学生や高齢者が利用しやすくするため、住宅密集地にバス停を増やす。理想は師崎地区まで鉄道開通してほしい。
- ⑦船は両島民の生活路なので、料金をもう少し下げてほしい。高校生の船代も、国からの補助金内でまかなえるくらいまでにしてほしい。便数も少ない乗客数の時間帯の部分を夜の方に回し、終便をもう少し遅い時間にならないか。(前回試験的に実施したのは効果なしだったのか)
- ⑧名鉄内海駅にエレベーターを設置してほしい！(もしくはエスカレーター)高齢化社会には不可欠。
- ⑨バスはなかなか乗らない。本数が少ない。【3】
- ⑩バス停の見直しが必要と感じている。40年前と同じところにバス停があってもいいのだろうか。観光施設を利用しやすくしたり、公共施設に重点を置かなくていいのだろうか。観光の町のはずなのに。【3】
- ⑪名鉄が高すぎる。乗車が少ない。知多新線を安くするよう町からも提言してほしい。そうしたら観光客も電車に乗る→バスを使うだろう。住民だけでバス利用を増やすのは難しいと思う。(名鉄×バス割引切符など)
- ⑫島の人だけが船の助成があるより全町民に助成があれば、豊浜、師崎地区の住民も島に今より気軽に行けるのでは。コミュニティバスを便数増やすか、個性的な車にするのはどうか。トゥクトゥクのようなオープンカー(観光用)など。
- ⑬高齢化する南知多にとって交通手段は死活問題。バス停のイス設置、バスや電車との接続を望む。【3】
- ⑭個人としては自転車とバスしか手段がない。バスと電車の接続を良くすること。内海駅はエレベーター設置(緊急)、島への交通費補助の増設、通学・通勤で島の住民の生活を保障する。【3】
- ⑮島民は船代免除か橋を作ってほしいです。片名に駐車場があるので、そこまでの交通も不便です。
- ⑯町としても、町民としても費用と効果や便利さを考えれば、公共交通は赤字間違い無し。ターゲットを高校生にしてほしい。高校の朝部活や朝補習に参加させてあげてください。【3】
- ⑰東南アジアからの実務研修生が、バス停の時間割が読めずに困っていました。一部分だけでも英語表記の時刻表があったらいいかと思います。【3】
- ⑱1時間に1本しかないバスは大変使いづらい上に、行きにバスを利用しても、夜遅いバスがないため帰れなくなるので、結局使えずにおり、不便さは変わらない。終電でも乗れるバスがなくて使えない。終電でも乗れるバスがほしい。バスが使えないのならせめてタクシーの助成等があると助かる。しかし、タクシーも呼んでも来てくれるかわからない時があり帰れるか不安で、あまりあてにできないため、バスがあった方が安心できる。また、今はわからないが、以前バス停にいても気づかれずスルーされたことがあるので、1時間に1本でそれでは使えない。【3】
- ⑲駅から家まで歩いて帰れない距離に家がある人が多いので、夜遅く、終電後までバスがあって、1時間に何本もあると実用性がある。送り迎えがなくなれば家庭も楽になり住みやすい町になる。観光客にとっても、1時間に何本もあれば、電車で来てても遠いところまで足を運びやすくなる。

7. 管理指標(pt) 町民意識調査による満足度

現状値(R2)	R3	R4	R5	R6	目標値(R6)
76					91

8. 評価委員会の総合評価

評価	評価に係るコメント
R3	
R4	
R5	
R6	

第7次総合計画 第0期実施計画書

事業名	離島振興費				予算科目	2款1項8目3事業
	概要	国や県と連携し、篠島・日間賀島住民の生活の安定と福祉の向上を目的に離島振興を図ります				
担当課	地域振興課	重点政策	1・②・③	基本施策	3-5	2-4
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度	
予定事業費	30,939千円	21,648千円	19,809千円	19,809千円	19,809千円	
一般財源	10,479千円	13,752千円	11,913千円	11,913千円	11,913千円	
事業内容	離島振興事業 アイランダーなどPRイベントへ参加し、離島PR活動を行います。離島振興事業の内容をまとめ、全国離島振興協議会を通じ、国に対して要望します。両島への光通信サービス導入に係る補助をおこなうことにより、離島住民等の負担の軽減と格差是正を図ります。 ・離島光通信サービス導入事業補助金 12,000千円（新規）	離島振興事業 アイランダーなどPRイベントへ参加し、離島PR活動を行います。離島振興事業の内容をまとめ、全国離島振興協議会を通じ、国に対して要望します。離島振興協議会の内容をまとめ、全国離島振興協議会を通じ、国に対して要望します。	離島振興事業 同左	離島振興事業 同左	離島振興事業 同左	離島振興事業 同左
	離島交通費助成事業	離島交通費助成事業	離島交通費助成事業	離島交通費助成事業	離島交通費助成事業	離島交通費助成事業
特記事項	篠島・日間賀島住民に対して海上交通費の運賃助成を行います。	篠島・日間賀島住民に対して海上交通費の運賃助成を行います。				

第7次総合計画 第0期実施計画書

事業名	公共交通対策事業費				予算科目	2款1項14日1事業
	概要	南知多町地域公共交通網形成計画に基づき、町民の通勤・通学・通院などの日常生活を支える公共交通の維持・活性化を図ります				
担当課	地域振興課	重点政策	1・2・③	基本施策	3-5	3-4
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
予定事業費	107,725千円	105,506千円	105,506千円	105,506千円	105,506千円	105,506千円
一般財源	97,643千円	92,563千円	92,563千円	92,563千円	92,563千円	92,563千円
事業内容	<p>地域公共交通活性化・再生総合事業</p> <p>海っ子バスの運行を関係者や地域住民等と協議し、使い勝手の良いバスとするため改善の方向性を検討し、公共交通の利用を促進します。</p>	<p>地域公共交通活性化・再生総合事業</p> <p>海っ子バスの運行を関係者や地域住民等と協議し、使い勝手の良いバスとするため改善の方向性を検討し、公共交通の利用を促進します。また、学校教育課と連携し令和4年度からのスクールバス運行に向けた最善の方法を検討していきます。</p>	<p>地域公共交通活性化・再生総合事業</p> <p>同左</p>	<p>地域公共交通活性化・再生総合事業</p> <p>同左</p>	<p>地域公共交通活性化・再生総合事業</p> <p>同左</p>	<p>地域公共交通活性化・再生総合事業</p> <p>同左</p>
特記事項	<p>公共交通活性化・再生総合事業</p> <p>海っ子バス「海っ子バス」を改訂し、将来の望ましい公共交通ネットワークの構築と運行方法の検討を実施します。</p> <p>通勤、通院等の生活の利便性の向上と観光利用の促進を図り、公共交通の確保・維持のためコミュニティバス「海っ子バス」を運行します。地域公共交通網形成計画を改訂し、将来の望ましい公共交通ネットワークの構築と運行方法の検討を実施します。</p>					

第7次総合計画 第0期実施計画書

事業名	小学校一般管理費			予算科目	10款2項1目1事業
	概要	重点政策	①・2・3		
概要	小学校施設の適切な維持管理に努めます			1-2	
担当課	学校教育課			基本施策	3-5
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度
予定事業費	68,675千円	67,806千円	68,675千円		67,806千円
一般財源	68,485千円	67,617千円	68,486千円		67,617千円
事業内容	<p>小学校施設維持管理</p> <p>小学校の施設・設備・備品の適切な維持管理を行います。</p> <p>光熱水費・通信費 各設備保守点検 清掃・警備・管理委託 機器借上料</p> <p>スクールバス運行事業</p> <p>豊浜小学校における豊丘地区児童及び内海小学校における山海地区児童の登下校のため、スクールバス4台の運行を委託し、安全な送迎に努めます。また、水泳指導の授業時間確保や部活動の試合等移動に係る保護者負担軽減のために、スクールバスを活用します。</p>	<p>小学校施設維持管理</p> <p>小学校の施設・設備・備品の適切な維持管理を行います。</p> <p>光熱水費・通信費 各設備保守点検 清掃・警備・管理委託 機器借上料</p> <p>スクールバス運行事業（運行委託契約年）</p> <p>豊浜小学校における豊丘地区児童及び内海小学校における山海地区児童の登下校のため、スクールバス4台の運行を委託し、安全な送迎に努めます。また、水泳指導の授業時間確保や部活動の試合等移動に係る保護者負担軽減のために、スクールバスを活用します。</p>	<p>小学校施設維持管理</p> <p>同左</p> <p>スクールバス運行事業</p> <p>同左</p>	<p>小学校施設維持管理</p> <p>同左</p> <p>スクールバス運行事業</p> <p>同左</p>	
特記事項					

令和元年度 事業評価書

交通安全意識の高揚を目的に、交通安全の広報、啓発活動及び交通弱者の交通安全教育など、交通安全の推進活動を実施します

担当課 防災安全課
交通防犯係 内線223

事業概要

予算科目	2 款	1 項	10 目	1 事業	交通安全推進費	0千円	県支出金	0千円	町債	0千円	その他	1,682千円
予算額					財源内訳	0千円	国庫支出金	0千円	町債	0千円	その他	1,682千円
決算額					財源内訳	0千円	国庫支出金	0千円	町債	0千円	その他	1,559千円

計画 (PLAN)

主な事業	交通安全推進事業	運転免許証自主返納支援事業
事業内容	交通安全意識の高揚を目的に、交通安全啓発品の配布及び各種キャンペーンを開催します。	65歳以上の高齢ドライバーが免許証を自主返納した時にその後の支援品として、乗っ取りバス及び知多バス(師崎線)の共通1日乗車券6,000円分を交付します。
基本施策① ※①	3-2 つながりを活かした交通安全と防犯	3-2 つながりを活かした交通安全と防犯
基本施策② ※①	3-6 多様性を認め、共に支え合うコミュニティ	3-5 暮らしを支える地域公共交通
基本施策③ ※①		
重点政策 ※②	1 2 ③	1 2 ③

実施 (DO)

主な事業	交通安全推進事業	運転免許証自主返納支援事業
予算額		1,322,000円
決算額		1,205,269円
財源(一般財源)		1,205,269円
(その他)		0円
執行率		91.2%
事業実績	交通安全推進協議会全体会 1回/年 交通安全キャンペーン 3回/年 交通安全イベント基地 1回/年 シートベルト講習所 3回/年 幼児交通安全実践講座 1回/年 啓発活動延べ参加人員 340人	申請件数 59件

評価 (CHECK)

事業指標	人身交通事故件数の削減	運転免許証自主返納支援事業の実施
日標値	前年人身交通事故件数46件(死亡0件・重傷4件・軽傷42件)	60件/年
実績値	人身交通事故件数32件(死亡1件・重傷4件・軽傷27件)	59件/年
達成度	達成	未達成
担当課評価 ※③	人身交通事故件数の全体件数が減少したため啓発活動の効果はあったと考えるが、約3年ぶりに死亡事故が発生したため、更なる対策が必要がある。	目標未達成であったが、自主返納者は前年を上回っており、事業効果はあったと考える。
基本施策有効評価(妥当性) ※④	低い 1 2 ③ 4 5 高い	低い 1 2 ③ 4 5 高い
費用対効果評価(効率性) ※④	低い 1 2 ③ 4 5 高い	低い 1 2 ③ 4 5 高い

改善 (ACTION)

課題	改善・対応策
自動車による自損事故により死亡事故が発生したため、死亡事故抑制に向けて、安全運転サポート車(サボカー)の普及を促進する必要がある。	安全運転サポート車(サボカー)の普及に向けた支援事業の実施を検討する。
啓発活動の効果が低いため、次年度も同様に事業を実施する。	
推進方針 ※⑤	A B

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する有効性の高低 (効率的) …事業の費用対効果の高低
 ※④ 評価(妥当性) …基本施策に対する有効性の高低 (効率的) …事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和元年度 事業評価書

事業概要

国や県と連携し、篠島・日間賀島住民の生活の安定と福祉の向上を目的に離島振興を図ります

担当課 地域振興課
地域振興係 内線322・323

予算科目	2 款	1 項	8 目	2 事業	離島振興費								
予算額	18,771千円	財源内訳	国庫支出金	0千円	県支出金	8,323千円	町債	0千円	その他	0千円	一般財源	10,448千円	
決算額	18,732千円	財源内訳	国庫支出金	0千円	県支出金	8,294千円	町債	0千円	その他	0千円	一般財源	10,438千円	

計画 (PLAN)

主な事業	離島振興事業	離島交通費助成事業
事業内容	アライندگان一なPRイベントへ参加し、離島PR活動を行います。離島振興事業の内容をまとめ、全国離島振興協議会を通じ、国に対して要望します。	篠島・日間賀島住民に対して海上交通費の運賃助成を行います。
基本施策① ※①	2-4 何度も訪れたくなる観光・交流	3-5 暮らしを支える地域公共交通
基本施策② ※①	3-4 安心な暮らしを支えるインフラ	3-4 安心な暮らしを支えるインフラ
基本施策③ ※①		
重点政策 ※②	1 ② 3	1 2 ③

実施 (DO)

主な事業	離島振興事業	離島交通費助成事業
予算額	532,000円	18,239,000円
決算額	497,620円	18,234,182円
財源 (一般財源)	497,620円	9,940,046円
(その他)	0円	8,294,136円
執行率	93.5%	100.0%
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 全国離島振興協議会総会に要望書を提出 (令和元年5月27日 長崎県五島市) アライندگان一2019に出展 (令和元年11月23日・24日 東京サンシャインシティ 来場者数: 約11,000人) 地域の魅力発信: 移住&地域地の開わり創出フェアに出展 (令和元年11月17日 パンフィコ横浜 来場者数: 約3,000人) 	<ul style="list-style-type: none"> 篠島・日間賀島住民に対して海上交通費の運賃助成のため大人16枚、小人14枚の割引券を配布した。 【割引券の利用率】 93.3% (大人94.3%、小人73.0%)

評価 (CHECK)

事業指標	国に対する要望活動の実施	助成対象者全員に割引券を配布
日標値	1回/年	利用率90%
実績値	1回/年	93.3% (大人94.3%、小人73.0%)
達成度	達成	達成
担当課評価 ※③	離島特有の地域課題について、国に対する要望活動を継続実施できた。また、全国的には知名度の低い篠島・日間賀島を首相官邸においてPRできた。	小人の利用率が減少しており、未受領の住民も含めてPRの機会を増やすなど利用率向上に努める必要がある。
基本施策有効評価 (妥当性) ※④	低い 1 2 3 ④ 5 高い	低い 1 2 3 ④ 5 高い
費用対効果評価 (効率性) ※④	低い 1 2 3 ④ 5 高い	低い 1 2 3 ④ 5 高い

改善 (ACTION)

課題	改善・対応策
全国離島振興協議会を通じて老朽化した環境施設の取壊しや海底送水管布設整備費に係る財政的支援措置など7課題を国に対して要望をおこなっているが、財源確保の点からも解決の目的が立っていない。	
辺地計画に基づいて許可された辺地対策事業の活用や各省庁からの交付金や補助金を活用し、老朽化した施設の解体などの地域課題の解決を図る。	
広報等でPRを図っているが、小人の利用率が減少するなど、利用率の向上に繋がっていない。	
使用期限が近づいてきたことをお知らせするため、広報などでPRを図り利用促進を図る。	
推進方針 ※⑤	B

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価
 ※④ 評価(妥当性) …基本施策に對する有効性の高低 (A…高く B…中程度 C…低程度 D…非常に低い)
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和元年度 事業評価書

南知多町地域公共交通網形成計画に基づき、市民の通勤・通学・通院などの日常生活を支える公共交通の維持・活性化を図ります

担当課 地域振興課
公共交通係 内線322

事業概要

予算科目	2 款	1 項	14 目	1 事業	公共交通対策事業費	0千円	町債	0千円	その他	0千円	その他	18,434千円	一般財源	97,297千円
予算額	115,731千円				国庫支出金	0千円								
決算額	115,304千円				国庫支出金	3,750千円								98,574千円

計画 (PLAN)

主な事業	地域公共交通活性化・再生総合事業	コミュニティバス運行事業
事業内容	海っ子バスの運行を関係者や地域住民等と協議し、使い勝手の良いバスとするため改善の方向性を検討し、公共交通の利用を促進します。	通学、通勤、通院等の生活の利便性の向上と観光利用の促進を図り、公共交通の確保・維持のためコミュニティバス「海っ子バス」を運行します。 また、運行業務委託の長期継続契約の更新と車両を1台購入します。
基本施策① ※①	3-5 暮らしを支える地域公共交通	3-5 暮らしを支える地域公共交通
基本施策② ※①	3-4 安心な暮らしを支えるインフラ	3-4 安心な暮らしを支えるインフラ
基本施策③ ※①		
重点政策 ※②	1 2 ③	1 2 ③

実施 (DO)

主な事業	地域公共交通活性化・再生総合事業	コミュニティバス運行事業
予算額	13,079,000円	102,652,000円
決算額	13,032,195円	102,272,192円
財源 (一般財源)	13,032,195円	85,541,312円
(その他)	0円	16,730,880円
執行率	99.6%	99.6%
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 乗降調査 バス利用者アンケート調査 南知多町地域公共交通活性化・再生協議会開催 タウンミーティング開催 時刻表の印刷 運賃改定に伴う減収額補てん【知多乗合株式会社】 	<ul style="list-style-type: none"> 海っ子バス運行委託【レスクル株式会社】 海っ子バス購入【中型バス 1台】

評価 (CHECK)

事業指標	タウンミーティングの開催	海っ子バス運行本数の維持
日標値	10回/年	16往復 (32便) /日
実績値	10回/年	16往復 (32便) /日
達成度	達成	達成
担当課評価 ※③	利用者を含む、住民の方たちとの意見交換ができた。	運休なく運行できた。
基本施策有効評価 (妥当性) ※④	低い 1 2 3 ④ 5 高い	低い 1 2 3 ④ 5 高い
費用対効果評価 (効率性) ※④	低い 1 2 3 ④ 5 高い	低い 1 2 3 ④ 5 高い

改善 (ACTION)

課題	改善・対応策	推進方針 ※⑤
少子化・人口減少によりバスの利用者が減少しており、今後さらなる公共交通の利用者減少が危惧される。	あて職による参加メンバーが目立つ。	B
タウンミーティングで住民から出た意見をダイヤや路線に反映し、住民の利用率の向上を図るとともに、観光客にとっても利用しやすいバスを目指す。	SNS等で一般住民に情報発信し、興味を持たせるなどPRを図る。	B
推進方針 ※⑤		B

※① 基本目標…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価
 ※④ 評価 (妥当性) …基本施策に対する有効性の高低 (効率的) …事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和元年度 事業評価書

小学校施設の適切な維持管理に努めます

事業概要

担当課 学校教育課
学校教育係 内線553・554

予算科目	10 款	2 項	1 事業	小学校一般管理費			
予算額	65,705千円	財源内訳	0千円	県支出金	0千円	町債	0千円
決算額	60,598千円	財源内訳	0千円	県支出金	0千円	町債	0千円
				189千円	一般財源	65,516千円	
				141千円	一般財源	60,457千円	

計画 (PLAN)

主な事業	小学校施設維持管理	スクールバス運行事業
事業内容	小学校の施設・設備・備品の適切な維持管理を行います。 光熱水費・通信費 各設備保守点検 清掃・警備・管理委託 機器借上料	豊浜小学校における豊丘地区児童及び内海小学校における山海地区児童の登下校のため、スクールバス3台の運行を委託し、安全な送迎に努めます。また、水泳指導の授業時間確保や部活動の試合等移動に係る保護者負担軽減のために、スクールバスを活用します。
基本施策① ※①	1-2 次代の担い手を育む教育環境	1-2 次代の担い手を育む教育環境
基本施策② ※①		3-5 暮らしを支える地域公共交通
基本施策③ ※①		
重点政策 ※②	① 2 3	① 2 3

実施 (DO)

主な事業	小学校施設維持管理	スクールバス運行事業
予算額	57,037,000円	8,668,000円
決算額	52,475,000円	8,123,000円
財源 (一般財源)	52,334,000円	8,123,000円
(その他)	141,000円	0円
執行率	92.0%	93.7%
事業実績	小学校6校の児童数等の状況 児童数 686人 学級数 52学級 教員数 78人	豊浜小1台、内海小2台 計3台 ・スクールバス運転業務委託料 5,156千円 ・スクールバス維持管理費等 2,967千円

評価 (CHECK)

事業指標	学校施設の適正な維持管理	スクールバスの適正な維持管理
日標値	6小学校	4台
実績値	6小学校	4台
達成度	達成	達成
担当課評価 ※③	小学校6校の施設を適正に管理することができた。	バス運行において、大きな事故なく運行することができた。
基本施策有効評価 (妥当性) ※④	低い 1 2 3 ④ 5 高い	低い 1 2 3 ④ 5 高い
費用対効果評価 (効率性) ※④	低い 1 2 3 ④ 5 高い	低い 1 2 3 ④ 5 高い

改善 (ACTION)

課題	小学校6校とも現在の配当予算では、電子黒板や大型モニターなど高価な備品を購入することができない。	スクールバス運行事業
改善・対応策	重点配分予算として、配当額のメリハリをつけて、各校に高価な備品が購入できる予算を配当する。	バス申請時の取り決めの作成並びにバス運行会社及び町内小中学校に示し、お互いがそのルールの中で実施する。
推進方針 ※⑤	B	

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価
 ※④ 評価(妥当性)…基本施策に對する有効性の高低 (ゆき性) …事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討